



2022
5
No.436

川広報 たかなべ

KOHO TAKANABE



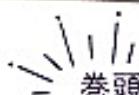
町内在住の大庭康資さんが

高鍋町町民栄誉賞！

大庭 康資 さん



町民栄誉賞



巻頭特集

ボランティアに参加してみませんか？

空手道マガジンJKFan提供

発行：高鍋町

高鍋町高齢者 おたすけ ボランティア

高齢者を対象としたボランティア活動を通じて、恩送り（受けた恩を次々とバトンタッチして行く）をして健康に過ごしてみませんか？

高鍋町高齢者おたすけボランティアは、高齢者に対して、話し相手や読み聞かせ、散歩やレクリエーション、ごみ出しの手伝いなどさまざまな活動を行います。ボランティアの受け入れを希望する町内の高齢者施設や希望者宅へ伺い、活動しています。

興味のある方やボランティアの受け入れを希望される施設は、下記までお問い合わせください。

健康保険課 介護・高齢者福祉係 ☎26-2008



高鍋 義康さん



聞いてみた

その方の若い時の話、友達や同級生の話、町内のことなど共通の話題を見つけて表情を見ながら盛り上げ、楽しく傾聴を行っています。「待ってたよ」と言われることもあり、お互に傾聴を楽しみにしています。

施設での傾聴



個人宅での傾聴

レクリエーションの手伝い



おしゃべり交流会



レクリエーションの手伝い



散歩

あなたも
ボランティアに
参加しませんか？



たか鍋まごころ サポーター

たか鍋まごころサポーターをご存知ですか？たか鍋まごころサポーターとは、障がいのことを正しく理解して、障がいを持つ方を支援するボランティアです。

サポーターを目指す方は、全4回にわたるさまざまなテーマの研修を受講します。受講後にサポーターに認定されると、福祉施設などで障がいを持った方と触れ合い、レクリエーションの手伝いなどを行います。

興味のある方は、下記までお問い合わせください。また、今後チラシも配布予定ですので、そちらもご覧ください。

福祉課 地域福祉係 ☎26-2009

聞いてみた

私は研修に参加したのをきっかけにボランティアを始めました。施設では皆さんと玉投げゲームや、リース作りなどで楽しい時間を過ごしています。分からない事ばかりで緊張もしますが、大切なのはお互いに心を寄せ合う事なのかなと感じています。

少しでも興味がある方は勇気を出して参加してみませんか？

高鍋の気になるアノ人を不定期紹介するページです

高鍋町町民栄誉賞 大庭康資さん！

連邦のドバイで開かれた空手の第4回世界障害者選手権・男子視覚障害者部門（形）で銅メダルを獲得し、町民に勇気と感動を与える顕著な功績があったことによるものです。

高鍋町出身の大庭さんは、22歳で失明し、ユニバーサル松濱館空手連合に入門しました。同選手権には第1回大会から連続出場し、第1回大会で銀、第2回は銅、第3回ではついに金メダルに輝きました。

表彰式で大庭さんは「たくさんの方々に支えてもらったおかげで受賞できました。これからも支えてくれた方々に少しでも喜んでもらえるように精進します」と話され、来年の同選手権への出場意欲も示されました。

町民栄誉賞授与は、昨年のスカイ・ブラウンさんに続いて2人目です。

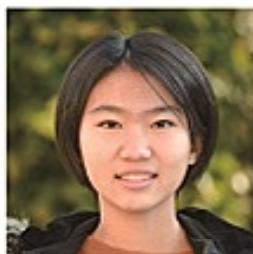
4月20日、町内在住の大庭康資さんが高鍋町町民栄誉賞を授与されました。昨年11月にアラブ首長国

連邦のドバイで開かれた空手の第4回世界障害者選手権・男子視覚障害者部門（形）で銅メダルを獲得し、町民に勇

高鍋町町民栄誉賞 表彰式**第7回 なわのおび賞 6人と1組が受賞**

が贈られました。石井十次顕彰会（萱嶋稔理事長）によって贈られる同賞は、例年4月の石井十次賞贈呈式・生誕記念式典で表彰式を行いますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となりました。

記事の中では受賞時の学校・学年で表記しています。



高鍋東小学校6年生
諸富 莉月（もろどみなづ）さん
運動会では2年連続応援リーダーを務めたり、新しい応援のアイデアを出したたりするなど、学校行事や委員会活動に積極的に参加しました。学校外では珠算、バドミントンなどに励みました。



高鍋西小学校6年生
橋口 侑奈（はしこちゅな）さん
いつも笑顔で誰に対しても平等に接し、生活委員会の朝のあいさつ運動にも積極的に取り組みました。グループ学習では、自分の意見を確実に伝えるだけでなく、優しい声掛けで友達の意見を引き出すことができました。



高鍋東中学校3年生
三枝 千洋（みえだちひろ）さん
昨年の県中学総合体育大会男子800メートル共通で1位の成績を収め、高鍋町スポーツ協会優秀賞を受賞しました。1年時から毎年学級三役になるなど、何事にも前向きに取り組み、周囲の心の支えとなりました。



高鍋西中学校3年生
荒谷 歩夢（ひじやあゆむ）さん
2年生のとき、帰宅困難になった認知症の高齢男性に優しく声を掛けて安全を確保し、高鍋町から感謝状を授与されました。自宅から学校まで約6キロメートルの距離を毎日通学しながら、学習にも力を注ぎました。



高鍋高校 上杉薦山研究班

高鍋藩と関わりの深い米沢藩の教育や、上杉薦山公の政策やリーダーとしてのあり方を研究しました。10回以上におよぶ研究会や町歴史総合資料館でのフィールドワークなどで学びを深め、宮崎産業経営大学のシンポジウムでは、現代の複雑な課題に立ち向かうためのリーダーシップの在り方などの研究成果を発表しました。



高鍋高校2年生
守部 心々音（もりべここね）さん
学習や部活動と両立しながら、みやざき SDGs Actionなどの活動に意欲的に参加しました。昨年は、モンゴルの高校生と「イタリアにおける子どもの貧困」を研究し、模擬国連大会に参加するなど、他の模範となりました。



高鍋農業高校3年生
塙 隆弘（しおつきたかひろ）さん
誠実な人柄で積極性があり、周囲と良好な関係を築き、自分たちに何ができるかを考え、実現しようと努力しました。3年生のときは生徒会長として生徒会行事の充実に務め、多くの生徒からの支持を得たほか、県学校農業クラブ連盟大会の意見発表で県教育長賞を受賞しました。

さあみんなでにっこり健康づくり！

高鍋町は、4月に「高鍋町健康づくり・食育推進計画」を策定しました。

この計画では、「健康づくり」と「食育」を推進するための具体的な取り組みをまとめています。

高鍋町の現状

死亡原因（令和元年度）

生活習慣病「がん・心疾患・脳血管疾患」の3疾患が5割を占めている

疾病状況

（令和2年度国民健康保険特定健康診査より）

高血圧症・糖尿病の方が全国と比較して多い

大人(20~64歳)計画策定アンケート結果



BMI25以上（肥満）：男性	33%	女性	20%	
3食食べない	：男性	39%	女性	33%
必要な野菜量がとれていない人	：約	7割		
お酒の適量を知らない人	：約	5割		
年1回の歯科検診を受診しない人	：約	7割		

生活習慣病は若いころから予防することが大事！

健康づくり・食育推進の目標

高鍋町では「健康づくりの合言葉は お・た・の・し・み・に♪」をもとに、下の基本目標をかけ、各年代に応じた行動計画を提案しました。健康づくりは、皆さん一人ひとりが取り組んでいくものですが、家族や地域で集い、笑顔で続けられることが何より大切です。行政としても、皆さんの健康づくりのお手伝いをしていきますので、ぜひご利用ください。



おいしくたべる

- ・楽しくおいしくバランスよく食べる
- ・体に気をつけて飲酒する

たのしくうごく

- ・楽しく身体を動かす
- ・自分にあった運動を継続する

のんびりやすむ

- ・心と体を休める

しっかりまもる

- ・自分の体を病気から守る
- ・たばこの害から体を守る
- ・自分の歯を大切にする

みんなでつどう

- ・一人で悩まない

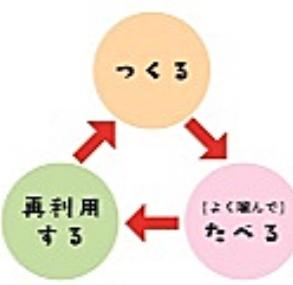
にっこりわらう

- ・自分にあったストレス解消法をもつ



「食育」とは、さまざまな経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。

「食」は食べることだけでなく「つくる」こと「再利用する」こととつながっています。それぞれのライフスタイルにあった食育サイクルを実践していくことが大切です。



皆さんのが健康づくりに取り組むための具体的な例を含め、計画全体を高鍋町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

